

NEC Express5800シリーズ

Array Recovery Tool
Windows 2000 サポートキット

インストレーションガイド

商標について

Array Recovery Tool と ESMPROは日本電気株式会社の登録商標です。

EXPRESSBUILDER は日本電気株式会社の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT は米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Mylex は米国Mylex Corporation の登録商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows 2000 はMicrosoft® Windows®2000 Server operating system およびMicrosoft® Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system の略称です。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NEC の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

©NEC Corporation 2000

1. インストールの前に

ここではArray Recovery Tool(Windows 2000 サポートキット版)をインストールする前に知っておいていただきたい事柄について説明します。

1.1 動作環境

Mylexディスクアレイシステムを構築している以下の機種に適用してください。

- ハードウェア
 - 本体 Express5800本体(下表参照)
 - メモリ OSの動作に必要なメモリ + 1MB
 - ハードディスクの空き容量 1MB以上
- ソフトウェア
 - Microsoft Windows 2000

装置名	NEC型番
Express5800/110Ec	N8500-474/484/513/514
Express5800/110La	N8500-466/467/468/469
Express5800/110Lb	N8500-475/477/515/516
Express5800/120Ha-R	N8500-317A/368/411/412/413/416/417
Express5800/120Lc-R	N8500-371/372/373/374/400/401/410
Express5800/120Ra2	N8500-376
Express5800/120Ld	N8500-425/426/427/428/429/430/431
Express5800/120Ld-R	N8500-434/435
Express5800/120Mc	N8500-436/437/438/443/488/509/539
Express5800/120Mc-R	N8500-448
Express5800/120Rb-2	N8500-478/486
Express5800/140Ha	N8500-494/495/496/497/498/499/500
Express5800/140Ha-R	N8500-387/388
Express5800/140Ma-R	N8500-381/476

【重要】

Array Recovery Toolが動作するためにはGlobal Array Managerをインストールしておかなければなりません。

1.2 監視対象となるアレイコントローラ

Array Recovery Toolがサポートするアレイコントローラは次のようになっています。

Controller Model	NEC型番	ESMPRO対応状況
DAC960PTL1	N8503-44	ESMPRO/ServerAgent3.7
DAC1164P	N8503-43	
DAC1164P	N8503-49	

1.3 ESMPROのサポート範囲

通報連携の対応は次の通りになっています。

ESMバージョン	通報連携可否
ESMPRO/ServerAgent3.7	○

2. インストール

Array Recovery Tool(Windows 2000 サポートキット版)のインストールでは、Array Recovery Tool のファイルのインストールと環境設定を行います。

2.1 ファイルのインストールと環境設定

次の手順に従って、Array Recovery Tool のファイルのインストールと環境設定を行います。

【重要】

すでにArray Recovery Toolがインストールされていて、再度インストールする場合、システムにインストールされているArray Recovery Toolをアンインストールしてから行ってください。アンインストールの方法は、「3. アンインストール」を参照してください。

1) ユーザ名「Administrator」でログインする。

2) 「artool.exe」を実行する。

Array Recovery Toolのインストーラを起動すると、動作準備状況を[セットアップ]ダイアログボックスで表示し、しばらくすると、[ようこそ]ダイアログボックスが表示されます。

3) [次へ(N)>]ボタンをクリックする。

[Array Recovery Tool機能概要]ダイアログボックスが表示されます。

4) [次へ(N)>]ボタンをクリックする。

[ログファイル作成フォルダの指定]ダイアログボックスが表示されます。

5) インストール先フォルダを指定して、[次へ(N)>]ボタンをクリックする。

[ファイル コピーの開始]ダイアログボックスが表示されます。

インストール先フォルダを変更する場合は、[参照(R)...]ボタンをクリックしてフォルダを指定します。

【ヒント】

インストール先フォルダは、容量の問題がない限りデフォルト値の設定で問題ありません。

6) [次へ(N)>]ボタンをクリックする。

インストーラがファイルのインストールと環境設定を行った後、[セットアップの完了]ダイアログボックスが表示されます。

7) [終了]ボタンをクリックする。

【ヒント】

「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」のデフォルト値のまま[終了]ボタンをクリックすることにより、システムが再立ち上げされ、自動的にArray Recovery Toolの監視サービス(Array Recovery Service)が起動されます。

以上で、Array Recovery Tool のインストールは終了です。

3. アンインストール

Array Recovery Tool(Windows 2000 サポートキット版)のアンインストールでは、Array Recovery Toolのファイルの削除と環境設定の削除を行います。

3.1 ファイルと環境設定の削除

次の手順に従って、Array Recovery Tool をアンインストールします。

1) アンインストーラを起動する。

[コントロール パネル]ウィンドウから[アプリケーションの追加と削除]選択し、ダブルクリックします。しばらくすると、[アプリケーションの追加と削除]ウィンドウが表示されます。

[アプリケーションの追加と削除]ウィンドウから、[Array Recovery Tool]を選択し、[変更/削除(C)]ボタンをクリックします。しばらくすると、アンインストーラが起動されます。

2) [はい(Y)]ボタンをクリックする。

アンインストーラが起動すると[ファイル削除の確認]ダイアログボックスが表示されますので、[はい(Y)]ボタンをクリックします。しばらくすると[コンピュータからプログラムを削除]のダイアログボックスが表示されます。

3) [OK]ボタンをクリックする。

[アンインストールが完了しました。]が表示された後、[OK]ボタンをクリックしてください。

【ヒント】

「'Array Recovery Tool' はシステムから削除されませんでした。マシンを再起動してアンインストール時に使用中だったファイルを削除することをお勧めします。」というメッセージダイアログが開かれますが、アンインストールは正常に終了していますので、[OK]ボタンをクリックしてください。アンインストール時に削除されなかったファイルはマシンを再起動したときに削除されます。

以上で、Array Recovery Tool のアンインストールは終了です。